

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス すまいるベース		公表日		令和8年5月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	スペースを分けることで確保している	狭くなってしまっているところもあるため、机の配置を変える等スペースの確保をする
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	57%	43%	児童の特性や性別に合わせ配置している	支援の質を上げるためにも、もう少し人手が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	57%	43%	①移転し、活動スペースと静養室の階を分け、より落ち着きやすい環境を作っている ②絵カード等を用いて設備の使用方法を提示している	以前よりも扉が増えた為、怪我をしない為にもクッション等で保護する
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	57%	43%	児童の状況に合わせて部屋を使い分けている	活動スペースに関しては仕切りがない為、今後必要に応じて仕切ること検討
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	86%	14%	3階に静養室を設置している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	毎朝ミーティング時に振り返りを実施	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	86%	14%	スタッフ間で共有している	利用児童に対し返ってくる枚数が少なく、意見も乏しい為、一人でも多くの保護者に書いてもらえるよう積極的に声掛けする
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	①ミーティングで実施、記録してる ②定期的に個人面談を実施	意見を言えるスタッフと言えないスタッフが偏っている為、全員が言える環境を整える
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	86%	14%	外部の講師に頼み実施している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	HPIにて公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	モニタリングではしっかりと時間を取り、計画書を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	各児童に担当スタッフがいる為、担当スタッフを中心にミーティングで話し合っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	ミーティングで共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	86%	14%	アセスメントシートと日々の活動の観察を併用している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	計画書作成時、ガイドラインに沿った作成を心がけている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	86%	14%	集団活動のアイデアをミーティングにて行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	86%	14%	季節の行事等を取り入れた活動を行っている	内容が偏ってしまう事がある為、改善が必要
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	必ず個別課題と集団活動を設けている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	毎朝ミーティング時に実施	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	翌朝のミーティングにて振り返り、共有しているが重要な事柄については当日中に共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	86%	14%	担当制にし、毎日実施記録をつけている	記録方法を統一する
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	最低でも半年に一度はモニタリングを実施し計画書を作成している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	86%	14%	地域活動以外については、出来ている	地域活動については更なる取り組みの余地あり
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	86%	14%	一例としておやつの自己選択をしている	児童によっては難しいこともあるため、工夫が必要
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童の担当スタッフが同席するようにしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	29%	71%	児童によって連携出来ている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	71%	29%	基本的には保護者を通して行っている	時折行き違いがある為、保護者だけではなく学校にも確認していく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	14%	86%	全児童ではないが保育園や幼稚園、児童発達支援事業所との会議の場で共有している	こちらからも積極的に聞き取りしていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	57%	43%	卒業前に担当者会議等で共有している	全児童にできているわけではないので、こちらからも積極的に情報提供する場を設けるようにする
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	14%	86%	研修には極力参加している	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	年に1、2回程系列保育園との交流がある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時にその日の様子等を伝えている状況次第では電話で話している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	29%	71%	年に1回程ではあるが参観を実施している	出来ていない曜日も実施していく
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に説明し、不明点等があった際は電話で対応している	全職員が対応出来るようにしていく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	モニタリングや送迎時、その他随時、設けるようにしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	必ずサインをいただいている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	モニタリング以外でも必要に応じて面談をしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	コロナ以降できていないが、保護者も参加型の参観を実施した	今後も積極的に実施していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	マニュアルを作成している苦情があった際は早急に対応する様に心がけている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	①今年度より連絡手段をアプリに移行した ②日々の活動風景をアプリ内で発信している ③Instagramも継続している	活動風景以外にも重要な連絡事項等もある為、全保護者に見てもらえるよう促していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	全職員に気を付けるよう注意している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	視覚支援等、児童の特性に応じて対応している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	定期的に研修、訓練を実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	毎月避難訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時に聞き取り、該当児童に関しては、症状が出た際の対応、搬送先の病院等を細かく聞くようにしてる	全職員がてんかん発作時の対応を出来る様、定期的な訓練等が必要
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	86%	14%	契約時に聞き取りし、対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	作成している	①外部研修等に積極的に参加していく ②室内の設備だけではなく、近隣の公園や散歩コースを可能な限り確認する
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	記録、共有し、改善策を話し合っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	86%	14%	定期的に研修を実施	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	身体拘束が必要になるかもしれない児童に関しては、事前に保護者に相談し計画書に記載、身体拘束を行った場合の記録用紙を作成している		